

情報通信配線フォーラム 2005 情報配線技術技能競技大会
メタル配線施工競技課題

【参加条件】

年齢制限なし 二人競技

【競技チーム数】

16 チーム 申し込みが 16 チーム以上の場合は抽選とする。

【全般】

競技課題は、宅内配線作業、構内配線作業、施工確認作業の 3 項目から構成されている。

競技時間は、標準時間 120 分、打ち切り時間 150 分とし標準時間を超えて作業を終了した場合減点対象とします。

競技が打ち切り時間前に完了した競技組は、審判に手を上げて申し出ること。

競技中の質問は一切受け付けない。ただし、緊急かつ必要性のある場合には、対応を協議するので申し出ること。また、審判が競技中に作業内容に関する質問等をすることがあるので了承のこと。

使用可能とされた器具・部材のみ用いてよい。疑義がある場合には、競技開始前に申し出ること。

支給材料は、不良の場合を除き追加支給をしない。

安全作業に十分配慮すること。

【審査の基準】

以下の項目を審査の基準とする。

設計/施工作業の正確さ

設計/施工時間

施工後の特性

施工・配線の美しさ

お客様サイドに立った考え方：4C 施工（Comfortable, Convenient, Consulting and Communication）がなされているか

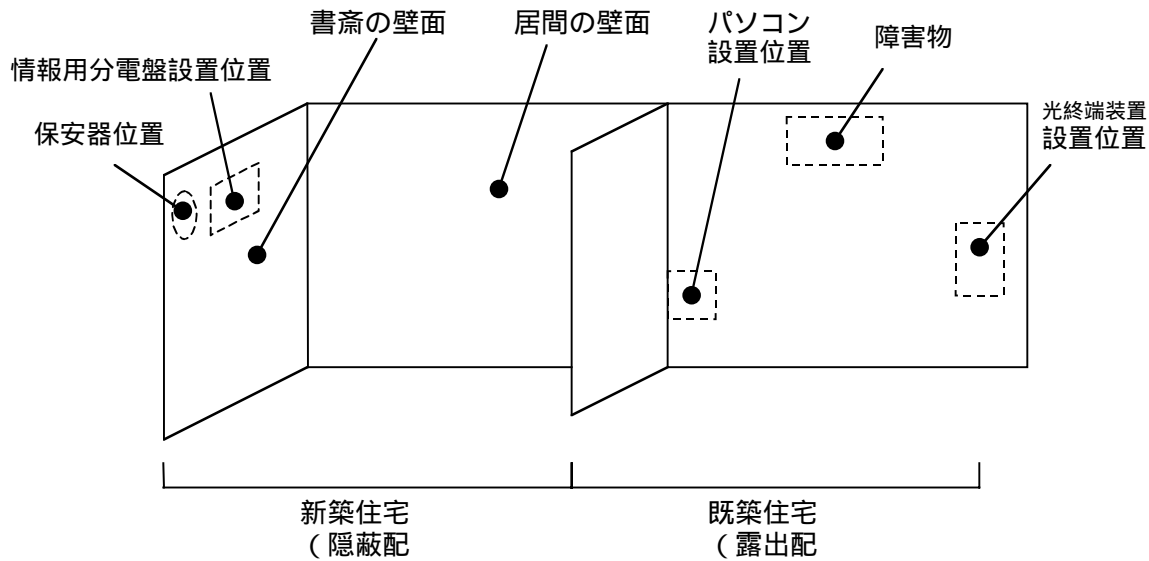
【表彰】

第 1 位～第 3 位（金・銀・銅）を各 1 組決する。

一定の基準に達した組には敢闘賞を与える。

【競技課題】

競技ブースの説明



構内配線作業

次の施工条件に基づき、配線・測定作業を行うこと。

- ・ 19 インチラック内パッチパネル側の成端作業を 24 ポート行うこと。
- ・ 端子盤側の成端作業を行ったケーブルのうち、4 本について TO 取付を行うこと。
- ・ TO を取り付けるケーブル長は 15m とする。
- ・ TO を取り付けないケーブル長は 4m とする。
- ・ それぞれのケーブルは、ケーブルの特性に配慮した上で、適切な整線処理を行うこと。
- ・ TO を取り付けたケーブルについて、それぞれ導通試験を行うこと。
- ・ 結線は TIA/EIA 568A に準拠して行うこと。

宅内配線作業

施工条件 (競技ブース左側)

以下の施工条件および別紙の課題図面に従って、競技ブースの左側にお客様の要望を満足する新築住宅の隠蔽配線工事の一部 (居間および書斎の一部) を行うこと。なお課題図面では設置部材の取付位置および部材間の配線のみを示しており、配管、モールや書斎・居間以外の部屋への配線などは記載していない。

- ・ 書斎壁面に情報用分電盤を設置すること。
- ・ 書斎の外壁から宅内に電話線を引き込む為に、保安器位置の壁面に穴あけ工事を行い、外壁には防雨入線カバーを取り付けること。また、保安器位置から情報用分電盤に配管工事を行い、電話線を引き込むこと。
- ・ 居間の壁面 2 箇所情報用コンセントを設置すること。
- ・ 情報用分電盤と情報用コンセントの間の LAN ケーブルおよび電話用ケーブルの配管・配線工事を行い、工事後に導通検査を行うこと。

- ・分配器と情報用コンセントの間の TV 用の同軸ケーブルの配線工事を行うこと。工事はコンセントへの接続と天井裏までの配線のみとし、同軸ケーブルは天井裏に 50cm 程度引き出したところで切断すること。
- ・情報用コンセントにはスイッチボックスを使用すること。
- ・情報用分電盤から他の居室の情報用コンセントへの配線工事を行うこと。工事はスイッチング HUB、電話端子台へのケーブル接続のみ（配管は不要）とし、ケーブルは情報用分電盤から 50cm 程度引き出したところで切断すること。
- ・情報用分電盤内でスイッチング HUB に接続した LAN ケーブルには、接続先の部屋名を記したタグをつけること。
- ・電話用配線において、別系統の配線を同一シースに同居させることは不可とする。
- ・情報用分電盤に同梱されている施工チェック表に必要事項を記載すること。情報用コンセントを取り付けていない部屋についても、コンセントを取り付けたと想定して記載すること。
- ・本協議では LAN 配線の結線はいずれも TIA/EIA 568A に準拠すること。
- ・書斎への光ファイバ引き込みへの対応は必要ないものとする。

お客様の要望

- ・情報用分電盤は書斎の壁面に設置して欲しい。
- ・電話用の保安器は書斎壁面の外壁に設置して欲しい。
- ・TV 用の分配器は情報用分電盤の中ではなく、天井裏に設置して欲しい。
- ・当面のインターネット接続は ADSL を利用。モデムの設置場所は未定の為、書斎、居間（2 箇所）、寝室のいずれでも ADSL モデムを設置できるようにしておきたい。
- ・将来の FTTH 対応に備えて、書斎に光ファイバを引き込めるようにしておきたい。
- ・書斎、居間、寝室、子供部屋（二部屋）でパソコンやデジタル TV をインターネットに接続できるようにして欲しい。
- ・電話機は食堂に設置する。書斎、居間、寝室、子供部屋（二部屋）はデジタル TV の双方向を考慮して、電話回線にチューナを接続できるようにして欲しい。
- ・TV は書斎、居間（2 箇所）、寝室、子供部屋（二部屋）で見ることができるようにして欲しい。

施工条件（競技ブース右側）

以下の条件に基づいて、競技ブースの右側に既築住宅の露出配線工事を行うこと。

- ・「光終端装置設置位置」には光ファイバを引き込んで光終端装置が設置してあることを想定している。
- ・パソコンは「パソコン設置位置」に設置する為、「パソコン設置位置」に露出用の LAN 用モジュラジャックを取り付けて、「光終端装置設置位置」（「パソコン設置位置」から離れていることを想定）に取り付けた LAN 用モジュラジャックから露出の LAN 配線の工事を行うこと。
- ・配線はブースに取り付けられている障害物を回避して行うこと。
- ・配線はモールにて隠蔽すること。

施工確認作業

施工確認作業を行うこと。